

内部資本の強化 製造資本

MTP2026では、「経営資源の強化」として、デジタルの力を活用し、事業変革を起し続ける基盤をつくります。品質・技術・モノづくりおよびそれらを支える人材の育成において、デジタル技術を積極的に活用しています。

生産においては、生産の超安定化、グローバル生産の強化、新商品の生産対応の施策を進めています。これらの施策により、需要変動や時代の変化にも強い体質をつくり上げ、持続的成長につなげます。施策の中で特にデジタル技術を活用し、新たなモノづくりに挑戦しているのが「生産の超安定化」です。止まらない、不良品を作らないラインをつくり、お客様のニーズにより応えられる生産現場の構築を目指します。より高い品質と生産性1.5倍の実現を目指し、NSKの新たなモノづくりを追求していきます。

三現主義である「現場・現物・現実」に加え、デジタル技術を活用して、さらなる改善を

■ 次世代モノづくり人材の育成

NSKは、設備と人の能力の最大化のため、継続的改善活動である生産革新活動(APS)やより良い設備の開発とそれを長年使いこなす現場力・保全力の強化などを長きにわたり行ってきました。そして、この生産革新活動にデジタルを掛け合わせ、活動をさらに進化させています。部署横断型のチームでムダを見つけ出し、徹底的に改善する取り組みにより、生産現場の「変わる 超える」に挑戦する次世代モノづくり人材の育成にもつなげています。



現場のAPS活動の様子: デジタルを活用して、現場の生産状況(問題点)をリアルタイムで共有し、改善を実行

■ よりダイナミックな改善につながるデジタル技術の活用

■ PM-Ai(ピーエムアイ)を活用して全社員の知見をデジタル化

PM-Aiは、設備を大切に維持、管理し、安全で品質の良い効率的な工場を目指すための設備管理システムです。現在は国内外10工場以上で導入しています。改善事例や保全記録、故障履歴とその対処法などをデータベース化し、AI(人工知能)を使って管理しています。PM-Aiを活用することで、良品づくりのノウハウがデジタル化され、熟練者の知見・技能の伝承を工場を超えて実現することに貢献します。



故障している設備の様子を保全員と共有



設備の故障状況をデータで受領後、遠隔地の保全員と交信

このほかにも、

■ 生産最適化に向けた取り組み

生産プロセスのシミュレーション、グローバル設備能力の一元管理システムの構築

■ 遠隔監視による管理の高度化の取り組み

設備の稼働状況や製品品質の可視化システムの構築

など、NSKの新たなモノづくりに挑戦しています。

品質および生産性の向上、より安全・安心で、環境にやさしい工場を実現し、さらには社員がいきいきと働ける工場を目指します。

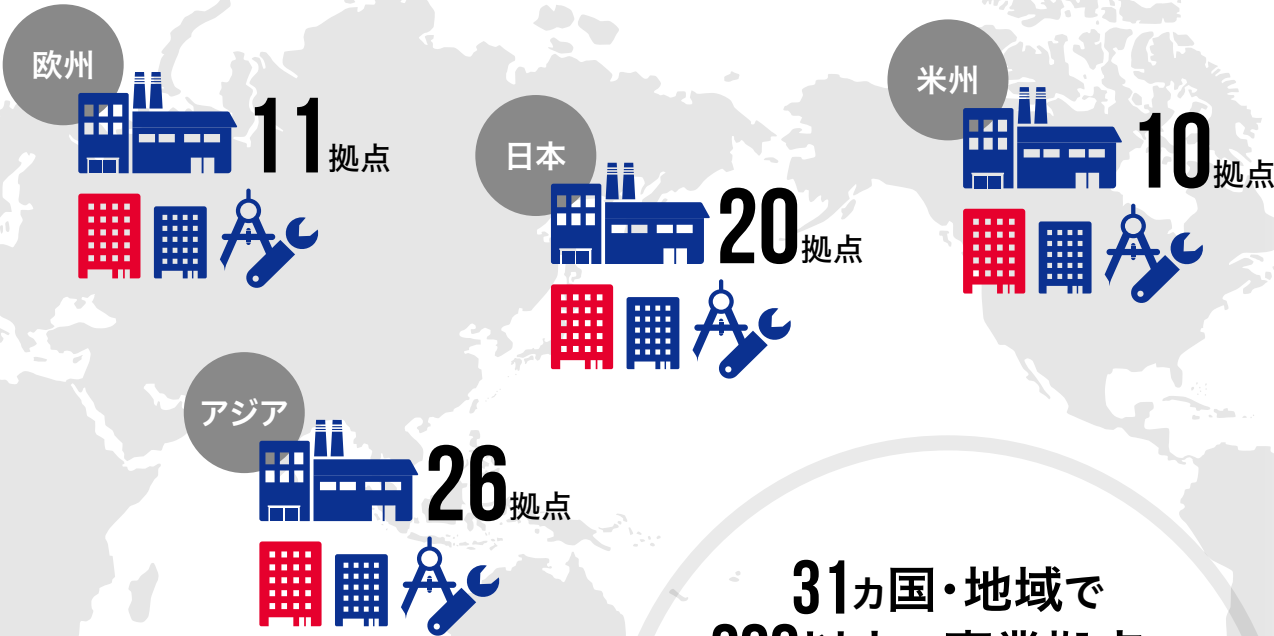
生産革新活動(APS/Advanced Production System)

用語解説

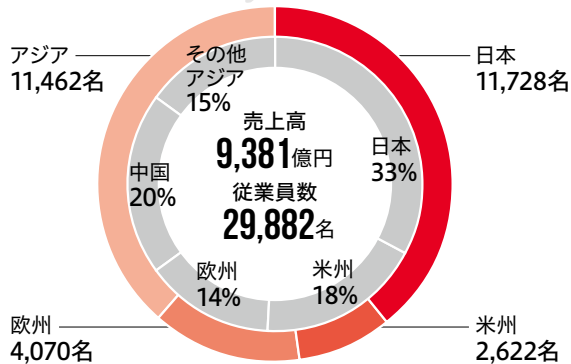
NSKでは競争力の追求と従業員の教育を目的に生産改善活動を長年行ってきました。効率の良い生産により、リードタイムを短縮し、工程内の在庫を減らし、生産性と品質を向上し、競争力を高めることを追求しています。製造現場で考え、チームで協力しながら、改善提案を行い、その中でも優れた改善活動を社内で共有することにより、従業員のスキルアップとノウハウ蓄積にもつなげています。

グローバルに広がる事業拠点

NSKは、31カ国・地域で200以上の事業拠点を展開しています。(2023年3月末時点)
グローバルに広がる67拠点の生産拠点を活用し、最適地生産を推進しています。



■ 顧客地域別売上高構成比 / 地域別従業員数 (連結) (FY2022)



31カ国・地域で
200以上の事業拠点を
展開
うち生産拠点67拠点
(2023年3月末時点)

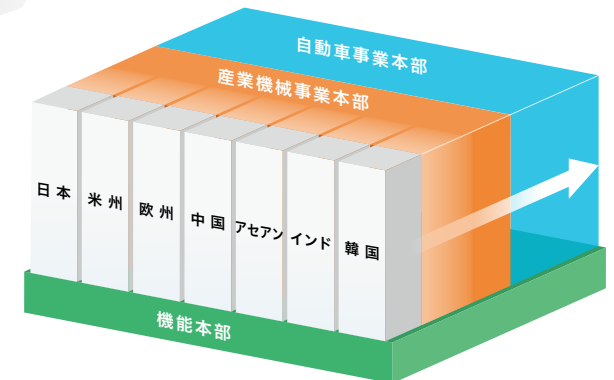


■ グローバル供給力を活かした最適地生産が強み

NSKは、日本の製造業としては早くから海外展開を進めてきました。1948年から始まった海外輸出に続き、1970年代にはブラジル、米国、イギリスなどで海外生産を開始、現地生産品による海外事業の基礎としました。1980年代以降は、電機や自動車向け製品を中心に生産品目を拡大するとともに、1990年代に入り新興国の経済発展を背景に、中国を含むアジア各国で生産拠点を設立しました。その後、新興国での事業を拡大し、国内外の幅広いお客様とのビジネス関係を構築し、グローバル生産拠点を活用した最適地からの供給提案を行っています。

■ グローバル展開を支える基盤

NSKは「産業機械事業」「自動車事業」の2つの事業を軸とし、各地域で事業遂行を担当する地域本部と機能面から横断的に事業をサポートする機能本部で支えるマトリックス型の組織を採用しています。



※ NSKは各拠点を、それらが存在する地域別に「日本」「米州」「欧州」「中国」「アセアン」「インド」「韓国」に分けています。